

乳幼児期からはじめる性教育 -自分だけの『だいじ』なところ-

近年、「性」について、よく耳にするようになりました。関心はあるけれど、「性教育はハードルが高い・・・」と感じていませんか？
性教育は、体の変化や避妊についてだけではありません。自分も相手も『だいじ』にするための大切な教育です。
いろいろな疑問をもち、ママパパの言葉を受け入れる時期だからこそ、乳幼児期から性教育をはじめてみませんか。

講師

脇本薫 助産師 ヨリヨク助産院

プロフィール

総合病院に約10年勤務し、身体的・社会的ハイリスク妊産婦の対応に従事。病院勤務の経験から日本の性教育の遅れを実感し、子どもたちに性教育を広めるために病院を退職。
現在は、産後ケア施設などで勤務。幼稚園教諭・保育士家庭の外部講師をしながら小学校・中学校での包括的性教育活動を実施。令和6年7月～きょうと妊娠SOS・性の相談LINEを担当。

日時

令和6年

12月3日 火

13:30～15:00

(受付 13:00～)

場所

南区役所別館1階 ホール
(南区西九条南田町1-2)

対象

南区にお住まいの子育て中・子育て予定の方、南区の子育て支援に携わる教育関係者など性教育に関心のあ方どなたでも

定員

先着80名

問合せ

(075) 681-3574

講演会の間、
お子様をお預かりできます。
(先着10名)

事前申し込み制です。
ご希望の方は、下記の二次元コードからお申込みください。

申込締切

令和6年
11/19 火



※親子席もあります。お子様のお預かりをご希望でない場合は、申込みなく当日でご参加ください。

<主催> 南区子ども連絡会

<共催> 京都市南民生児童委員会 児童福祉部会